

ALES
DYNAMIC
ROOF

1PACK EPOXY SEALER

弱溶剤形1液スレート屋根用含浸強化エポキシシーラー

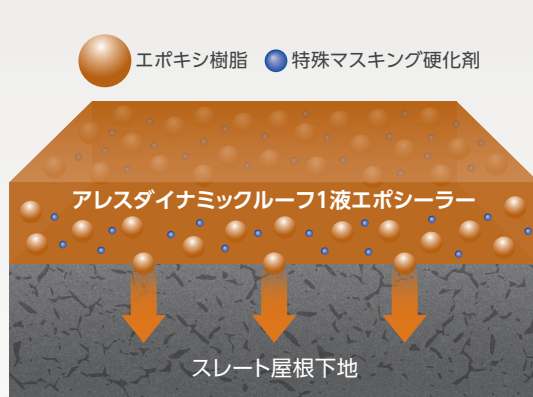
アレスダイナミックルーフ1液エポキシシーラー

1液の使いやすさと高品質を両立
スレート屋根の脆弱な下地層内から補強

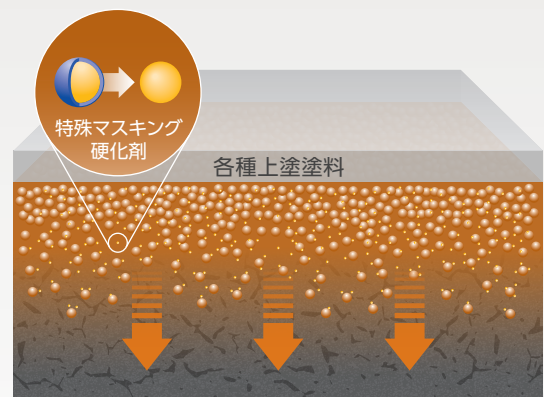
高い浸透性

強力な固化性

1液・高性能を実現したテクノロジー



エポキシ樹脂の高い浸透力と毛細管現象で
スレート屋根など下地層内に浸透



塗装後、湿気により特殊マスキング硬化剤の
マスキングがはずれ、エポキシ樹脂と反応して
強力に脆弱層を固化

アレスダイナミックルーフ1液エポシーラー

■ 荷姿 14kg

■ 適用下地

- ・住宅屋根用化粧スレート(新生瓦)
- ・波形スレート ・厚形スレート瓦

※洋風コンクリート瓦(モニエル瓦)、粘土瓦(釉薬瓦、いぶし瓦など)には適用できません。

■ 上塗可能塗料

- ・アレスダイナミックルーフ
- ・アレスダイナミックルーフMUKI
- ・アレスダイナミックルーフアクア
- ・アクアヤネフッソ
- ・スーパーシリコンルーフペイント

標準塗装仕様

■住宅屋根用化粧スレート(新生瓦)、波形スレート、厚形スレート瓦

工程	塗料名・処置	荷姿	希釈率(重量%)	塗装回数	標準所要量(kg/m ² /回)	塗装方法	標準塗装間隔(23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケ等は高圧水洗浄(10~15MPa)で除去してください。その後、水分がなくなるまで1~2日程度十分に乾燥させてください。						
下塗	アレスダイナミックルーフ1液エポシーラー	14kg	0(無希釈)	1~2※2	0.12~0.18※1	ハケ・ローラー	4時間以上7日以内
上塗	アレスダイナミックルーフ	ベース:13.5kg 硬化剤:1.5kg	5~15(塗料用シンナーA)	2	0.15~0.25	ハケ・ローラー エアレス	4時間以上7日以内
縁切り	塗装後、水切り部分で住宅屋根用化粧スレートの重なり部が塗料で詰まった場合には、皮スキ等で必ず縁切りを行ってください。瓦の上下に隙間がないと通気が不十分になり、結露水などの影響により漏水や素材の腐食・塗膜剥離・膨れなどに繋がる恐れがあります。						

※1 標準所要量は被塗物の形状や塗装条件によって増減することがあります。特に劣化したスレート屋根などでは5割以上増加することがあります。

※2 劣化した吸込みの着いた素材の場合、2回塗りをしてください。

《施工上の注意事項》

- 本注意事項及びご使用になる上塗のカタログに記載の注意事項を必ずご確認の上、塗装を行ってください。
- 粘土瓦(釉薬瓦、いぶし瓦など)、洋風コンクリート瓦には適用できません。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などで負荷が掛かった場合や、低温、高湿度、通風の無い環境では、はがれ、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。
- 可塑剤が多く含まれる部材(塩ビ鋼板、ゴムパッキン、ラミネート、合成皮革、プラスチック、シーリング材など)への塗装は避けてください。粘着や軟化が生じるおそれがあります。また、これら部材に直接塗膜が接触しないよう注意してください。
- 塗料用シンナーで溶解する旧塗膜や下地の場合には塗装しないでください(ちぢみ、にじみ、中うち、割れなど発生する場合があります)。
- 気温5℃以下(低温)、湿度85%以上(高湿)での施工は避けてください。
- 施工当日に被塗面に結露の発生が予想される場合は施工は行わないでください。
- 塗膜に降雨や結露の影響を受けた場合は、白化やつや引けなどの異常が生じやすくなります。山間部や河川近くなどの夜露の早くおきる多湿地域では、より条件が厳しくなりますのでご注意ください。
- 気象条件によりますが、塗装作業は、原則として晴天日の午前9時から午後3時までの時間帯を推奨します。
- 秋期のような昼と夜の温度差が激しい時期は、結露によるつや引け現象がおこり易いため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- 塗装仕様書に記載の数値は標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により多少の幅が生じることがあります。
- 塗装間隔は厳守してください。塗装間隔を過ぎた場合は目荒らしを行った後に塗装してください。また、塗装間隔が短い場合は、ちぢみ、割れ、しわなどが発生することがありますのでご注意ください。
- 塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と塗付量確保による施工を行ってください。
- 吸い込みのはげしい新生瓦などの塗り替え時はシーラーを塗装後にガムテープで基材との密着性を確認し、はがれが生じる部分は塗膜をはく離し、その部分に再度シーラーを塗付してください。

- 新生瓦などの窯業系屋根材の重なり部の隙間に塗料が入り込んだままにすると、降雨の排水性が悪くなり、漏水を生じることがあります。そのため、塗装後に屋根材同士が接着した箇所を皮スキ、塗膜カッターで「縁切り」処理を行ってください。もしくは、塗装前にあらかじめ専用スパーサーを挟みこんだ後に塗装を行ってください。
- 新生瓦などの窯業系屋根材では、高圧水洗後や、降雨、融雪などで屋根材の内部にしみ込んだ水分が短時間では抜けきらないため、水分がなくなるまで1~2日程度乾燥させ、十分に乾燥したことを確認した後に塗装を開始してください。乾燥が不十分な状態で塗装すると、塗膜の割れ、はがれ、はがれなどの不具合が発生することがあります。
- 補修塗り用として使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ローラー塗装では同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、仕上がりが異なって見えることがあります。
- 希釈は行わず、原液のまま塗装してください。
- 塗り替え塗装の前に、必ず高圧水洗やブラシを用いて、被塗面の付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。下地調整が不十分な場合には塗膜はく離の原因となったり、光沢不足や色むらが発生するなど異常を生じるおそれがあります。
- ほこり、油、漆液などは、塗装前に溶剤拭きや水洗い(温水)などで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
- 下地の劣化が著しく旧塗膜の密着不良が見られる場合は、脆弱塗膜を全て除去してください。
- 被塗物にカビや藻が繁殖している場合は、下地処理としてカビ・藻の除去および殺菌処理後、十分水洗し、乾燥してから塗装してください。
- 洗浄後、新生瓦の破損、役物の釘浮き、シーリング切れなど確認を行い、補修が必要な場合には適切な処置を行ってください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
- 本品は湿気を吸いやすいため、保管場所、保管状態に十分注意してください。また、湿気、水分と反応しゲル化変質しますので、開缶後は速やかに使い切り、使用した塗料を元の塗料容器に戻さないでください。
- 高圧水洗を行うと屋根が滑りやすくなりますので、足場には十分注意してください。
- 溶剤系塗料ですので、屋外塗装においても溶剤蒸気が換気口から流入しないよう養生を行ってください。

《ご使用上の注意事項》下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

【予防策】

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。本来の目的以外に使用しないこと。指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。取り扱いは、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

【対応】

目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受け

ること。飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

【保管】

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

【廃棄】

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を遵守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

【施工後の安全】

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は
こちらから!

各種カタログご覧になれます。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

(25年02月01日PKO) カタログNo.980